

授業科目名	人間行動論	担当教員	法文学部 准教授 田中 一馬		
開講年次及び学期	1年 前期	必修・選択の別	選択		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2

授業の目的（概要）

欧米における倫理学の諸理論を概観します。

わたしたちは、社会生活を営む者としてすでに一定の道徳を内面化し、それに基づいて生きています。自分が関わりを持つ人々の間で受け入れている道徳にさほどの違いがなければ、自分の道徳について改めて反省する機会はないかもしれません。しかし、実際は多かれ少なかれ、道徳の相違を意識する場合があります。

また、これまで自分が直面したことのないような状態に身を置くと、受け入れている道徳に基づくだけでは対応しきれないことがあるかもしれません。これらの場合に誰しもが発動させる倫理的思考を理論化しようとするのが倫理学です。倫理学は一つには、これらの場合に適切な行動の指針を提供することを目的としています。

しかし、倫理学上の諸見解は、それぞれ一定の前提に立脚しつつその主張を構築しており、無条件の正しさを持つわけではありません。個別の見解が前提している事柄は何か、そしてそこから一つの見解がどのような論理によって構築されているのか、などを客観的に理解することもまた、倫理学の目的の一つなのです。

授業では、倫理学が有するこれら二つの目的に十分留意しながら、受講する人が自ら倫理的思考を展開してもらえるよう、話題を提示しようと考えています。

- 1 欧米における倫理学の全体像（とりわけその論理構造や主張）を理解する。
- 2 倫理的な正しさやよさについて、自ら多面的に考える力を身につける。

学修成果（到達目標）

- 1 倫理学を構成するさまざまな立場の区分について、説明することができる。
- 2 倫理学を構成するさまざまな立場が拠って立つ前提について、説明することができる。
- 3 倫理学を構成するさまざまな立場の特徴について、説明することができる。
- 4 学んだ倫理的な見地をもとに、自分自身の倫理観を批判的に分析することができる。
- 5 倫理的な見地から検討を要すると思われる具体的な問題について、考察することができる。

キーワード

心理、行動、科学者、医師・看護師、患者、精神と身体、習慣と疾患、予防・健康増進

授業の進め方

スモールグループディスカッション・プレゼンテーション（アクティブ・ラーニング）を基本とする。

成績評価の方法（合否基準）

次の三点を評価の対象とします。

- 1 Moodleコースでの「確認テスト」を毎回事前に受験すること（必要条件）
- 2 授業期間中に計四回おこなう「問いかけ」への回答（60%）
- 3 期末のレポート（40%）

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書 特に指定しません。プリントを適宜配付します。

参考書 伊勢田哲治『動物からの倫理学入門』名古屋大学出版会、2008年、2940円
 佐藤岳詩『メタ倫理学入門 道徳のそもそもを考える』勁草書房、2017年、3300円
 赤林朗・児玉聡編『入門・倫理学』勁草書房、2018年、3520円
 その他、授業中に適宜紹介します。

オフィスアワー

毎週火曜日および木曜日の5コマ目がオフィスアワーです。Teamsのビデオ機能を利用して、ご質問などにお答えします。

授業に対するご質問などは、Teamsのチャット、Moodleのメッセージ、あるいはメールでお寄せ下さい。

メールアドレスは、kazuma@soc.shimane-u.ac.jp です。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ・授業内容	担当者
1	4.20(火)	10:25～ 12:05	L3	Moodle (オンデマンド)	はじめに 道徳と倫理の相違／授業の進め方について	田中
2	4.27(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(1) 帰結主義と非帰結主義	〃
3	5.11(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(2) 功利主義: 基本的な考え方と種類	〃
4	5.18(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(3) 功利主義: 功利主義への批判	〃
5	5.25(火)	〃	〃	Teams (ライブ)	規範倫理学(4) 功利主義: 批判への対応	〃
6	6.1(火)	〃	〃	Teams (ライブ)	規範倫理学(5) 義務論: 基本的な考え方と種類	〃
7	6.8(火)	〃	L3	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(6) 義務論: 寄せられる批判	〃
8	6.15(火)	〃	〃	Teams (ライブ)	規範倫理学(7) 徳倫理学: 基本的な考え方・寄せられる批判	〃
9	6.22(火)	〃	L3	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(8) 正義論: 契約説の基本的な考え方	〃
10	6.29(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	規範倫理学(9) 現代の正義論	〃
11	7.6(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	応用倫理学(1) 嘘をつくのはどんな場合にもいけないのか?	〃
12	7.13(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	応用倫理学(2) インフォームド・コンセントはなぜ必要か?	〃
13	7.20(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	応用倫理学(3) 私たちは人間以外の動物を差別しているのか?	〃
14	7.27(火)	〃	〃	Teams (ハイブリッド)	終わりに 倫理的に考えるということ／期末試験について	〃

備考

対面方式と同期型オンライン方式とを併用して進めます。

【初回】ガイダンスをおこないます。島根大学Moodleの「人間行動論」コース(4月5日開講)に、ご自身で登録して下さい(コース登録のやり方: <https://moodle.cerd.shimane-u.ac.jp/moodle/course/view.php?id=576> にアクセスし、Moodleにログイン後、登録キー(humanaction)を入力する)。

初回のガイダンスデータは4月14日から視聴していただけます。ガイダンスデータを視聴した上で、最終的に履修登録するかどうかを判断していただいてかまいません(Moodleのコースに登録した後で履修登録しない判断をされた場合、コースから脱退することが可能です)。

【2回目以降】対面方式とTeamsによるオンライン方式で受講していただきます(一つ前の授業との兼ね合いで、対面とオンラインの交互利用になるでしょう)。授業の進め方は、初回のガイダンス時にご説明します。

【オンライン時(5/19～6/1)】

Teamsによるオンライン講義を実施します。